

## 目的

アームを動かすときに、コンテナができるだけ落ちないように、そして、できるだけ早く持ち上げられるようにしたい。

## 実験

実験1：wait時間を変えてみることにした。

→図1のような結果になってしまい、

どの秒数だと安全かつ早く持ち上げられるのかがわからなかったため、次の実験を行った。

実験2：動かす角度を変える実験をした。

→図2のように少しの差がでたがもう少し大きな決め手が欲しいため、さらに調べることにした。

実験3：振動の大きさを調べた。

→図3のように結果が大きく分かれた。

## 結論

もっとも重要なことはコンテナが落ちないことであるから、振動の大きさは大きな決め手となった。

なので私は、コンテナが最も落ちにくく、できるだけ早く持ち上げることができた0.3秒にした。

チーム名トンボ玉 津田寛之助

図1 wait時間

0.0秒ずつ	0/5
0.1秒ずつ	5/5
0.3秒ずつ	5/5
0.5秒ずつ	5/5

図2動かす角度

1°ずつ	3/3
3°ずつ	2/3
28%→68%	0/3

図3振動の大きさ

0.0	大
0.1	中
0.3	小
0.5	大

右が成功率